

日経平均株価等の構成銘柄の取り扱いについて

日本経済新聞社は、日経平均株価等の一部の構成銘柄について、東証における市場区分変更後の上場市場がスタンダード市場になることに伴い、各指数について以下のとおり取り扱います。

なお、日経平均におけるこの取り扱いは、2021年7月5日付「日経平均株価の算出要領および構成銘柄選定基準の改定について」で公表した改定のうち、本年4月4日より適用を予定する臨時入れ替え基準における除外事由の「プライム市場以外の市場への異動」に該当するものです。この取り扱いは日経株価指数300についても同様です。

1. 日経平均株価

4月4日の算出から「新生銀行（8303）」を除外するとともに、銘柄選定ルールに則り、同日から同一セクター（金融セクター）で未採用の高流動性銘柄である「オリックス（8591）」を採用します。オリックスの株価換算係数は1とします。

2. 日経株価指数300

4月4日の算出から「大正製薬ホールディングス（4581）」、「日本オラクル（4716）」、「アコム（8572）」を除外し、「コーエーテクモホールディングス（3635）」、「SBIホールディングス（8473）」、「カプコン（9697）」を採用します。

3. 日経平均内需株50指数

4月4日の算出から「新生銀行」が日経平均から除外されるため、同日から同銘柄を除外します。ただし、この時点では銘柄補充を実施せず、次回の定期入れ替え時に50銘柄に戻します。

なお、本年4月4日より適用を予定する日経平均の算出要領および構成銘柄選定基準の詳細については、別紙資料「[日経平均株価算出要領（2022年4月4日適用予定）](#)」および「[日経平均株価構成銘柄選定基準（2022年4月4日適用予定）](#)」をご参照ください。

以上